

一 平成 29 年度 長野市立大岡中学校 グランドデザイン(教育活動推進計画)

長野市教育の基本理念

明日を拓く深く豊かな人間性の実現
長野市教育振興基本計画
しなのきプラン 2 9

学校教育目標

豊かに 深く 耕そう

校長の願い

- ・一人ひとりを伸ばす学校教育
- ・小中連携による 9 年間の指導
- ・地域づくりの拠点となる学校

本校の教育が目指す具体的な人の姿

○自ら学ぶ人 ○人を思いやる人 ○自ら律し自ら行動する人 ○大岡を愛する人

地域・保護者の願い (学校評価アンケートより)

- 挨拶ができ、マナー・ルールを守る生徒
- 臆せず堂々と主張できる生徒
- 家庭・学校・地域が連携して進める教育

目指す生徒像 自立した 18 歳の具現

- 人間関係を築ける生徒
- 自信を持ち、逞しく生きる生徒
- 生涯にわたって学び続ける生徒

本年度の重点

①一人ひとりを大切に学習支援

主体的な学習を促進する

- ・「わかる」「できる」授業の促進
- ・ **学校、保護者の連携による** 家庭学習の **更なる** 充実
- ・ PDCA、NRT の効果的活用
- ・ 一人ひとりの進捗に合わせた教師の支援 (T-T や個別支援)

②相手を大切に挨拶や関係作り

自己肯定感と他者理解を深める

- ・生徒と向き合い生徒理解を深め、生徒の光を見出す教師力向上研修
- ・自他を大切に人権教育の充実
- ・全校挨拶運動や実体験の発表会
- ・生徒会による自治的 **奉仕的** 活動の促進

③地域づくりの拠点となる活動

地域に学び、地域に生きる生徒の育成

- ・ **地域と学校が Win-Win の関係を築く大岡型コミュニティスクール (大岡小・中学校応援団【縁賀和】) の活動充実**
- ・ **学校の自立性、主体性を大事にした総合的な学習の時間の展開**

確かな学力を育むために (大岡中学校学力向上推進プランの具体) 小・中連携した学力向上の基盤づくり

① 学習指導の充実: 「個人カルテ」づくり、学力分析、授業改善…伸びる力を伸ばす力に高める教師の指導力向上

学習ガイダンス (4 月) → 実態把握・生徒理解と分析 (1 学期) → 授業改善・一人一公開授業 (2 学期) → 授業改善のまとめ (3 学期)

② 学習環境の充実: 「学習の手引き」、小中連携した授業のユニバーサルデザイン化、ドリル学習実施…学習効果向上

- ・ テスト前学習相談 ・ 家庭学習の工夫 (授業連動、意図ある宿題、**丁寧な評価**他)

③ 児童生徒の理解: 小・中連続した個の育ちをとらえる、相互参観、小中合同情報交換会…効果的な指導と学力向上

学力向上個人カルテの作成…NRT、PDCA サイクル支援事業、全国学テ等学力検査を小学校から連動して個人の分析を行い、授業改善に活かす

④ 活用の場の設定: 習得した知識や技能の活用場面作り、表現活動の拡充…自己表現力やコミュニケーション力向上

- ・ 課題解決に向けた追究方法の自己決定 ・ 友の追究に学んだ内容を言語表現 ・ 授業の終末で自らの高まりが自覚できる振り返り

安全で安心できる学校作りを目指した取り組み内容

① 生徒の心の安定を目指して

- ・ スクールカウンセラーによる全校生徒の定期的面談の実施
- ・ 人権・いじめ問題・ハラスメントなどの相談窓口の設置
- ・ 虹の橋委員会・学校評議員会において、第三者による学校点検の実施

② 安全な学校を目指して

- ・ 専門家を招へいた地滑り地帯の学習や防災教育
- ・ 多様な防災訓練 (火災、防災、地震他)
- ・ 施設老朽化に伴う危険個所の月 1 度の点検活動

③ 教職員の非違行為防止について

- ・ 生徒を含め人に学ぶ気持ちの高揚
- ・ 当事者の心の訴えに耳を傾けられるようになる人権研修の実施
- ・ 教職員の連携を深める諸活動の実施と人間関係の構築、生徒理解研修会における生徒理解力向上

地域等と連携して取り組む大岡中学校の特色ある活動内容

- 全校しいたけ駒打作業 (4 月) ○ 沼津自然教室と沼津大岡中交流会 (5 月) ○ 早稲田奉仕園との交流会 (6 月)
- ふき採り週間 (6 月) ○ 地域医療の担い手としての救命救急法学習 (7 月) ○ ことぶき荘の方々との交流 (12 月)
- スノーバスターズ (冬季) ○ 注連縄作り (12 月) ○ 「おおおかえんがわ TV」への参加 (総合)